

研究機関名：東北大学

1.受付番号	2018-006
2.研究課題名	感覚様式の異なる刺激による快-不快情動の喚起と大脳皮質活動： NIRSによる検討
3.研究期間	平成31年3月（部局長承認後）～平成32年3月31日
4.研究の概要	<p>意義・目的（研究の背景・目的や倫理的項目についての的確に記すこと。）</p> <p>本研究では、快感情・不快感情を喚起させる可能性のある視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚（皮膚感覚）の、一般に五感と呼ばれる5つの感覚様式の刺激について、複数の感覚様式の刺激を同時に呈示した際の賦活部位および賦活度合いを単一の刺激を呈示した際と比較し、感覚様式の違いと喚起される感情に関し考察することを目的とする。脳活動計測には、安全性、行動制限や賦活反応の時間分解能などを加味し、近赤外光脳機能イメージング装置「NIRS」を用いて評価を実施する。</p> <p>また、本研究で用いられる刺激が、快感情・不快感情の喚起において適切なものであるかを、呈示される刺激について Valence、Arousal の二次元における対象者の主観評価で確認する。</p> <p>方法（研究に必要な対象者人数、年齢構成、性別、および対象者を選ぶ方針・基準も記すこと）</p> <p>東北大学の大学生・大学院生男女計20名を予定し、口頭による募集を行う。使用予定の刺激に苦手なものがある場合、実験参加を自由に切りやめることができる旨を予め知らせておく。</p> <p>近赤外光イメージング装置（NIRS: Shimadzu FOIRE-3000）を脳活動計測に用い、快感情・不快感情を喚起させる可能性のある刺激を認識しているときの脳活動（前頭前野）を計測する。すべての情報は連結可能な形で匿名化される。実験参加にあたる謝礼は支払われない。</p> <p>問い合わせ・苦情等の窓口（講座・研究室の連絡先を記入し、研究者の個人名は記入しないこと）</p> <p>文学研究科心理学研究室（022-795-6048） 東北大学川内南地区「人を対象とした医学系研究」倫理審査委員会事務局（022-795-6103；sed-syom@grp.tohoku.ac.jp）</p>